

1

自然と共生した快適に暮らせるまち

- 1-1 自然環境の保全と活用
- 1-2 生活環境の整備
- 1-3 循環型社会の構築
- 1-4 持続可能な調和のとれたまち
- 1-5 公園・緑地の整備



榛原東小学校 6年 宮田 朋尚さん

■ 現状と課題

- 地球環境に配慮した持続的な発展のため、エネルギー大量消費国であり、また今、原子力発電への依存のあり方が検討されている日本では、官民による環境にやさしいクリーンエネルギーの普及を進めていくことが必要となっています。そのために太陽光、風力、バイオマス発電等の再生可能エネルギーの普及が求められています。
- 近年では、山林等への不法投棄や水質汚濁なども懸念され、観光客を含め、自然環境保全に関するマナーや意識の向上が求められます。

■ 5年後の主な目標

- 太陽光発電設置の普及率を高めます。
- 河川の水質保全に努めます。
- 不法投棄防止対策の強化に努めます。

指標	現状値	目標値
		H23
太陽光発電普及率	1% (H22年)	3%
水質検査回数	4回	8回
不法投棄報告件数	20回	10回

■ 主要施策

(1) クリーンエネルギーの普及推進

地球環境に配慮した太陽光発電など、環境にやさしいクリーンエネルギーの普及を図るとともに、省資源と省エネルギーを推進します。

(2) 自然環境の保全・活用

宇陀川などの豊かな自然環境の保全を推進し、市民やNPO等の協働により、美しい里山の保全に努め、市民や観光客の交流の場としての活用を図ります。

(3) 不法投棄や公害防止対策の強化

不法投棄や公害防止対策の強化に努めます。

■ 主な事業

- 太陽光発電設置費補助事業
- 農地・水保全管理支払交付金事業
- 中山間地域等直接支払事業
- 地域で育む里山づくり事業
- 不燃物埋立放流水質検査事業
- ごみゼロ美化運動
- 地域環境保全推進事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 自然環境保全に対する意識の高揚

市民自らが河川や森林など自然環境を守る意識が高まることが望めます。

- 再生可能エネルギー：太陽光、風力、波力・潮力、流水・潮汐、地熱、バイオマス等、自然の力で定期的に補充されるエネルギー資源によって生み出され、再生が可能であるエネルギー。

■ 現状と課題

- ・し尿処理などについては、合併処理浄化槽の設置件数も増加し、宇陀衛生一部事務組合（宇陀衛生センター）で衛生的かつ能率的に処理されています。
- ・斎場・火葬場については、「宇陀市営榛原斎場」「宇陀市営不帰堂火葬場」によって運営しており、今後も人口推移などを勘案し、適切な施設運用を図る必要があります。
- ・愛玩動物を飼育する家庭が増加しているなかで、いのちを大切にする愛玩動物との共生を維持するよう、マナーも含めて飼い主への適正な管理などを周知していく必要があります。

■ 5年後の主な目標

生活排水の処理率を高めるため、合併処理浄化槽の普及に努めます。
赤人霊苑の適正な管理と使用率の向上に努めます。

指標	現状値	目標値
		H 2 3
合併処理浄化槽整備率	3 4 %	4 3 %
赤人霊苑使用率	7 8 %	8 5 %

■ 主要施策

（１）し尿処理体制の整備

今後も衛生的かつ効率的な処理体制を推進するため、広域的な連携による処理施設の整備を図るとともに、浄化槽設置者に対する保守点検の指導などの啓発を図ります。

（２）火葬場・墓地の整備

斎場・火葬場については、今後も、少子高齢化の社会状況をふまえ、適切な管理運営と環境に配慮した墓地の整備を推進します。

（３）愛玩動物の適正管理支援

狂犬病予防をはじめ、愛玩動物との共生を維持するための適正管理を支援します。

■ 主な事業

- 合併処理浄化槽整備補助事業
- し尿処理委託事業
- 宇陀衛生一部事務組合負担金
- 斎場・火葬場業務委託事業
- 市霊苑事業
- 狂犬病予防注射委託事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 愛玩動物の適正管理やマナーの普及

愛玩動物の適正管理やふん尿の後始末など、飼い主のマナーが向上することが望めます。

※関連計画：宇陀市一般廃棄物処理基本計画

■ 現状と課題

- これまでの大量消費型社会から転換し、資源が循環する持続可能な社会を構築していく観点から、市民への啓発などにより、生ごみの堆肥化をはじめとして、ごみの減量化、資源化を進め、市全体で循環型社会を構築していくことが必要です。
- ごみについては「宇陀クリーンセンター」「東宇陀環境衛生組合」（東宇陀クリーンセンター）において処理を行っており、投入量は減少傾向にあり一人当たりの排出量もやや減少傾向になっています。今後も広域的な対応による円滑なごみ処理体制、廃棄物処理体制を維持することが必要です。

■ 5年後の主な目標

可燃性ごみの収集・処理体制の構築及びごみの減量化に努めます。

一般家庭の生ごみについて堆肥化を促進します。
ごみのリサイクル率の向上に努めます。

指標	現状値	目標値
		H 2 3
一般家庭から排出される生ごみ量	4,636 トン	3,740 トン
生ごみ処理機及びコンポスト設置件数	158 件	300 件
ごみ減量によるリサイクル率	12%	17%

■ 主要施策

(1) ごみの減量・資源化の促進

「3R運動」の普及に努め、市民一人ひとりの意識の高揚を図るとともに、市民が主体となったごみの減量化・資源化に対する取り組みを支援します。

(2) 廃棄物等の処理体制の充実

広域的な連携によるごみ処理施設の整備・充実に努めるとともに、収集体制の充実に努めます。

市内全域のリサイクル体制のもと、安定したリサイクル処理を行うため、処分施設の整備を検討します。

■ 主な事業

- 集団資源回収助成事業
- 生ごみ処理機購入助成事業

- 可燃性ごみ収集運搬委託事業
- 不燃焼物収集処理委託事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 3R運動の推進

ごみとなる余分なものは買わない・受け取らない、減量化する（リデュース）、一度使ったものをそのまま、あるいは洗浄や修理によって機能を復活させて、繰り返し使用する（リユース）、ごみは分別して再び資源として使う（リサイクル）、という「3R運動」の普及が望まれます。

※関連計画：宇陀市一般廃棄物処理基本計画

■ 現状と課題

- ・市民がいつまでも住み続けたい、来訪者が住んでみたいと思えるまちの環境を守るため、周辺の自然環境や歴史文化と調和した景観形成や生活環境整備を図る必要があります。
- ・良好な環境を活かして持続的に発展できるよう、環境と経済が両立するまちづくりを進める必要があります。

■ 5年後の主な目標

産業振興を推進するための組織「(仮称)宇陀市〇〇王国」を設立します。

指標	現状値	目標値
		H 2 3
(仮称)宇陀市〇〇王国設立	—	設立

■ 主要施策

(1) 良好な景観や環境に配慮したまちの形成

いつまでも住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりを進めるため、良好な景観や環境に配慮したまちの形成へ向けて、今後も積極的に関連施策を推進していきます。

(2) 環境を活かした持続的発展

循環型社会の構築とともに、環境を活かした観光・交流の振興、環境保全型の地域産業の振興、安全・安心の地産地消などを進め、環境と経済が両立した持続的な発展を図ります。

■ 主な事業

- 市制10周年記念事業
- 都市計画の見直し
- 自転車等放置防止対策事業

- 産業振興を推進するための組織「(仮称)宇陀市〇〇王国構想」

■ 市民ができる取り組み例

- ◎ **地域の資源を活かす**
地域の資源を活かした起業活動の取り組みが望まれます。
- ◎ **地産地消の推進**
地産地消に努め、地域の食材・食文化への理解促進(食育)と地域経済活性が望まれます。

■ 現状と課題

- 公園・緑地の整備については、地域の潤いある都市環境の創設や災害時の避難地、復旧拠点としての機能を有した都市型の公園や、自然の魅力を活かした広場、市街地のなかで自然にふれることができる緑地の整備等、市民のニーズが多様化しています。
- 市内の公園について、市民の体験や憩いの場として、また市外からの来訪・交流の場として、いっそうの活用を図っていく必要があります。

■ 5年後の主な目標

公園利用者数の増加を図ります。
(利用者数の把握できる施設)

指標	現状値	目標値
		H23
公園利用者数(利用者数の把握できる施設)	7万人	10万人

■ 主要施策

(1) 公園・緑地の活用

市内の公園について、子どもたちの情操教育や体験学習の場、市民の憩いの場、さらには市外からの来訪・交流の場として、指定管理制度の導入も含めて、いっそうの活用を図ります。

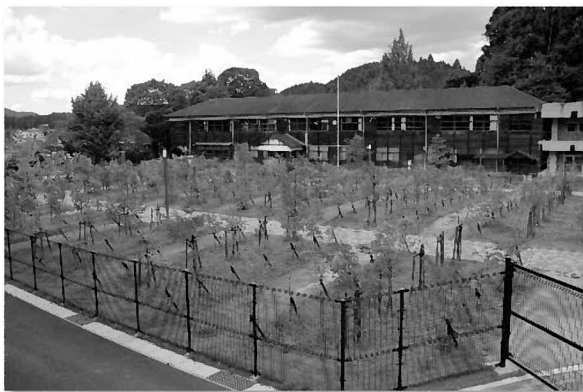
■ 主な事業

- ワールドメープルパーク指定管理
- 各公園管理運営事業
- アニマルパークと連携した事業

■ 市民ができる取り組み例

◎ 市内公園の活用

指定管理者制度の導入等を通じて、公園を活用した集いとふれ合いの場づくりと地域の活性化が望めます。



ワールドメープルパーク



アニマルパーク